



第38回 河川一斉清掃

皆の力できれいな川に

6月6日 吉井川・宮川・蘭田川

環境月間に合わせ、河川の大切さを見直してもらおうと毎年実施している河川一斉清掃。吉井川の本流と支流の宮川、蘭田川の延べ約8.5キロ区間で行われました。

流域の45町内会を中心に、学生や企業のボランティアなど、約3,000人が早朝から参加。ご協力ありがとうございました！

回収されたごみは21.65トン。ごみの内訳は草16.21トン、土砂4.79トン、粗大ごみ170キロ、不燃ごみ480キロでした。



サンタフェ中・高校生訪問団来津

津山は楽しかったかな

5月30日～6月2日 市内各所

友好交流都市である米国ニューメキシコ州サンタフェ市のモンテ・デル・ソル・チャータースクールの生徒21人が4日間津山に滞在し、市内などでホームステイをしながら、北陵中学校や作陽高校の生徒と交流を深めました。

また、書道や浴衣の着付け、横野滝でのそうめん流しなど、楽しみながら日本の文化を体験しました。

楽しい思い出を作ってもらえたでしょうか。

親子エコフェスタ2010

美しい地球を子どもたちへ

6月20日 アルネ・津山ほか

子どもたちが見て、触れて、楽しんで学べる体験型アトラクションが盛りだくさん。移動環境学習車「さんよう号」や児島湖移動水族館、クイズラリーなど、親子で環境問題や地球に優しい暮らし方を楽しみながら学びました。

市立図書館前には、子どもたちの地球温暖化防止への願いを書いた絵馬が壁一面に展示されており、この地球を美しいまま子どもたちへ引き継がなければならないと強く感じさせられました。



長法寺 あじさい祭

清涼感漂う空間

6月20日 長法寺(井口)

6月19、20日に開催された長法寺のあじさい祭。約35種類3,500株のアジサイが市内外から訪れた人々を魅了しました。毎年祭りの時には津山城取り壊しの時に移されたアジサイを描いた腰高障子(市指定重要文化財)も公開されています。

濃い緑と水色のアジサイに囲まれた参道に一步踏み入ると、何ともいえない清涼感に包まれます。思わず大きな深呼吸をしてしまいました。

第9回 広戸仙ふれあい登山大会

ほおをなでる新緑の風を感じながら

5月30日 広戸仙登山道(半日コース)

市と広戸西まちづくり協議会との協働事業として実施するようになって、今年で2回目。最年少6歳から最高齢86歳までの約200人が広戸仙の頂上を目指しました。

当日は絶好の登山日和。ウグイスやカッコウの鳴き声、ドラミングといわれるキツキが木をつつく音が響く中、参加者たちはそれぞれのペースで足を進めました。途中、ドウダンツツジやイワカガミなどのかれんな花に足を止めながら、豊かな自然と澄んだ空気を満喫。

初めて広戸仙登山に挑戦した大山真之介くん(鶴山小4年)は「山頂まで登り切れてうれしい。今度は富士山などいろんな山に登ってみたい」と山登りにすっかり魅了されていました。



第24回 津山さつきまつり

美しい立ち姿に感嘆

5月28～30日 リージョンセンターほか

毎年恒例の市花・サツキの盆栽展覧会。市内外の愛好家が何十年もかけて丹精込めて育てたサツキ。その見事な枝ぶりや花を見ることができ「津山さつきまつり」は、長年人々に愛され続けています。

展示された約80鉢の作品はどれもすばらしく、訪れた人は感嘆の声を上げながら、熱心に鑑賞していました。

また、地産地消センター「サンヒルズ」前では地域特産品の販売も行われていました。



グリーンヒルズ津山友の会
サツマイモの苗づる
植え付け作業

秋の収穫が待ち遠しいね

5月22日 リージョンセンター西側イモ畑

市民ボランティアのグリーンヒルズ津山友の会は、毎年、サツマイモの苗づるの植え付け作業と秋の「収穫祭」を行っています。誰でも参加できるこのイベントは、多くの人に喜ばれています。

今回、参加者には公園の植栽に使用する堆肥で成長したカブトムシの幼虫を分けてもらえることに。幼虫の育て方をボランティアの人に教えてもらった子どもたちはうれしそうに持ち帰っていました。